

SHARP RZ-A390シリーズ
BCPOSセットアップマニュアル

BUSICOM.

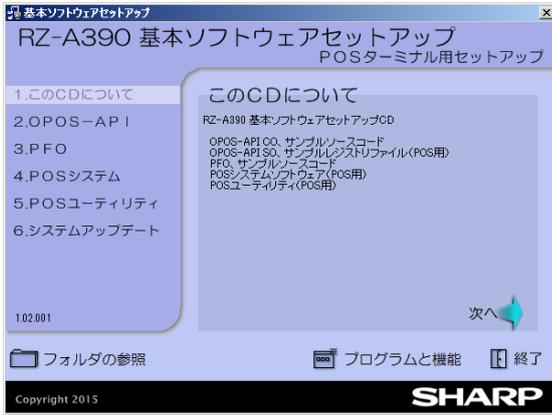
1986-2016 Busicom.Co.,Ltd. All Right Reserved.

目次【手順概要】

RZ-A390使用時の各種設定を下記手順で行います

① P-2

RZ390基本ソフトウェアの更新



⑤ P-8

RZ-A390用BCPOS機種設定



② P-3-4

POSキーボード設定

Esc	F1	F2	F3	F4	F5	F6
Tab	F7	F8	F9	F10	F11	F12
/	7	8	9	Back space	↑	Windows
*	4	5	6	←	↓	→
-	1	2	3	Shift	小計	
+	0	00	Enter	現計		

⑥ P-8,9

あっと免税連携、バーコード印字設定

ハードウェア設定

① P-10

配線の収納について

② P-11

レシート用アタッチメントについて



③ P-5

POSユーティリティの設定



③ P-12-15

カスタマディスプレイの取付け



④ P-7

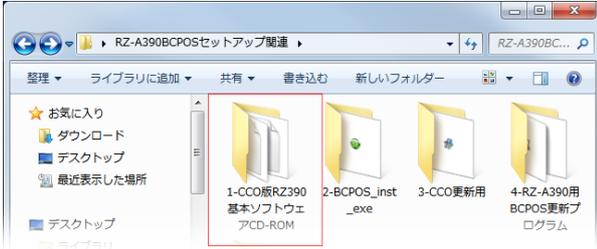
BCPOS最新版のインストール



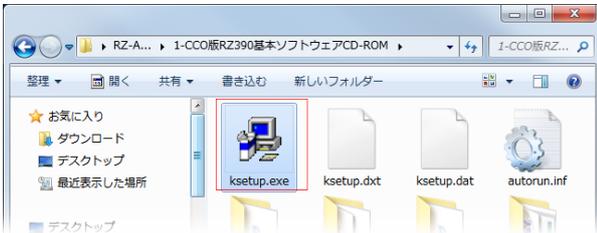
RZ390基本ソフトウェアの更新

RZ-A390基本ソフトウェアセットアップの更新は、CCO対応の最新版に更新する為に、「済」となっていますが全て更新します

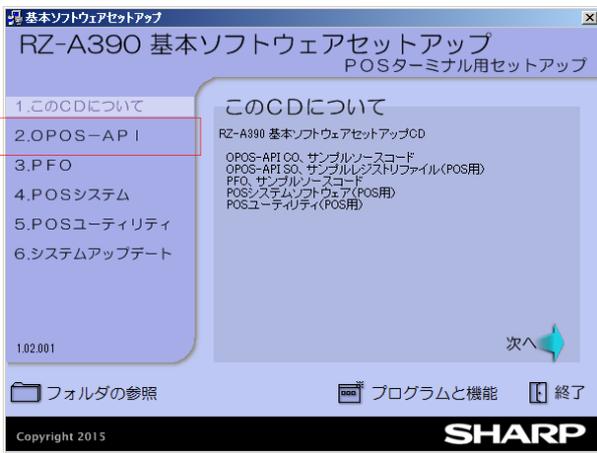
- ①-「RZ-A390BCPOSセットアップ関連」フォルダ内の「**1-CCO版RZA390基本ソフトウェアCD-ROM**」を開きます。



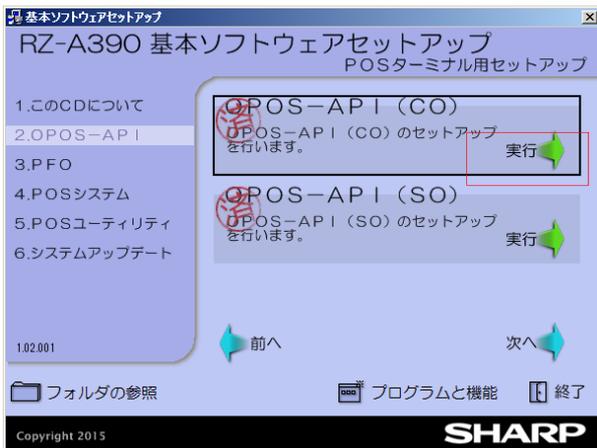
- ②-ksetup.exeをクリックして「基本ソフトウェアセットアップ」を起動します



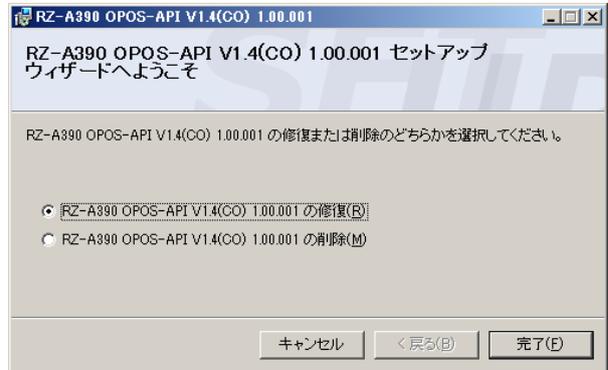
- ③-左メニュー「2.OPOS-API」をクリックします



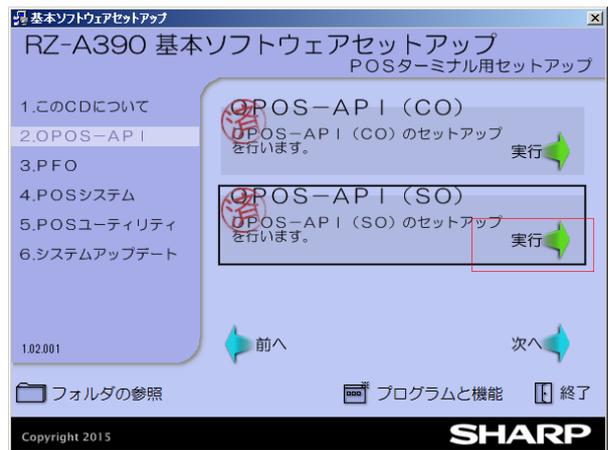
- ④-2項目表示され、どちらも「済」マークがついていますが「POS-API(CO)」の「実行」をクリックします。



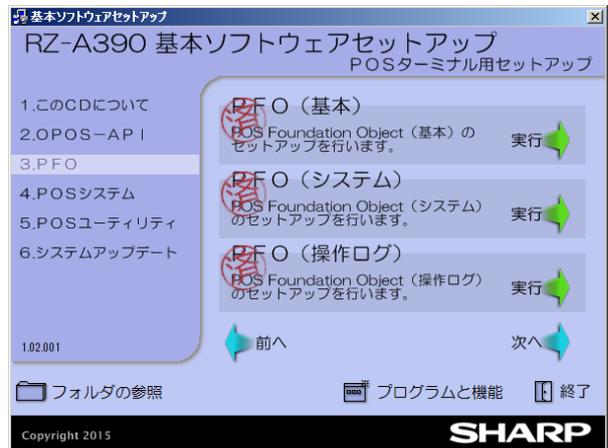
- ⑤-「実行」をクリックしたプログラムの「修復」にチェックが入っている事を確認して【完了】をクリックすると、プログラムがインストールされます。



- ⑥-次に同メニューの「POS-API(CO)」の「実行」をクリックして、⑤と同様にインストールします



- ⑦-次に左メニューの「PFO」メニューをクリックして、④～⑥と同様にインストールします



- ⑧-左メニュー2～6まで同様にインストールを実行して更新が終わったら「終了」を押して完了です。

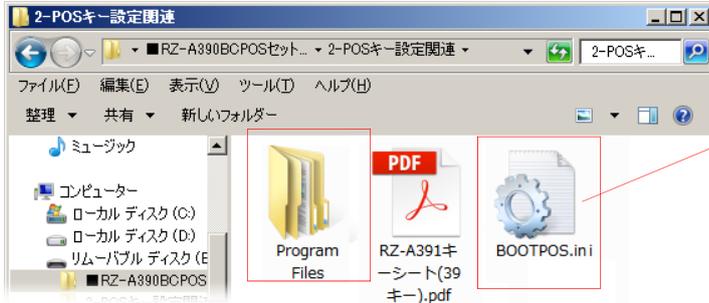
POSキーボード設定 - ①

POSキーボードを、BCPOSの運用が行いやすいように設定にします。

注) RZ-A390のini設定が含まれるので、レシート設定は下記手順後に行ってください。

1-①-「RZ-A390BCPOSセットアップ関連」>

「2-POSキー設定関連」フォルダ内の「Program Files」をコピーします。



2-①

「RZ-A390BCPOSセットアップ関連」>
「BOOTPOS.ini」をコピーします。

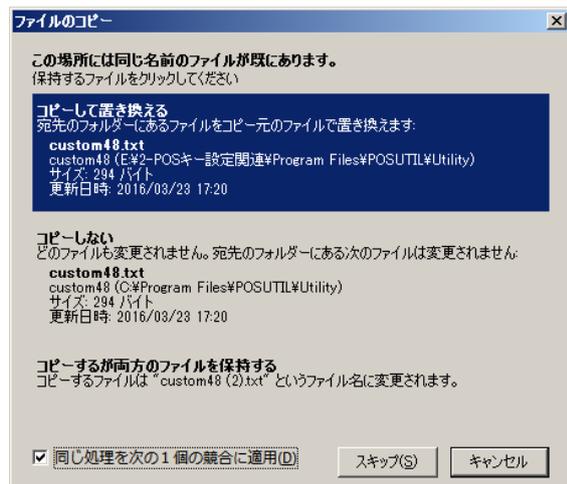
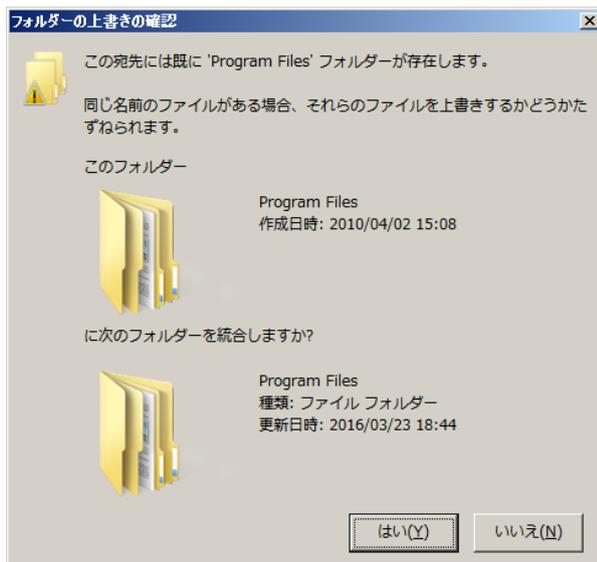
C:\¥Windows¥System32フォルダ
へ張り付けます。

1-②-「コンピューター」>「ローカルディスク(C:)」を開いて貼り付けます。

※全て上書きしてください。



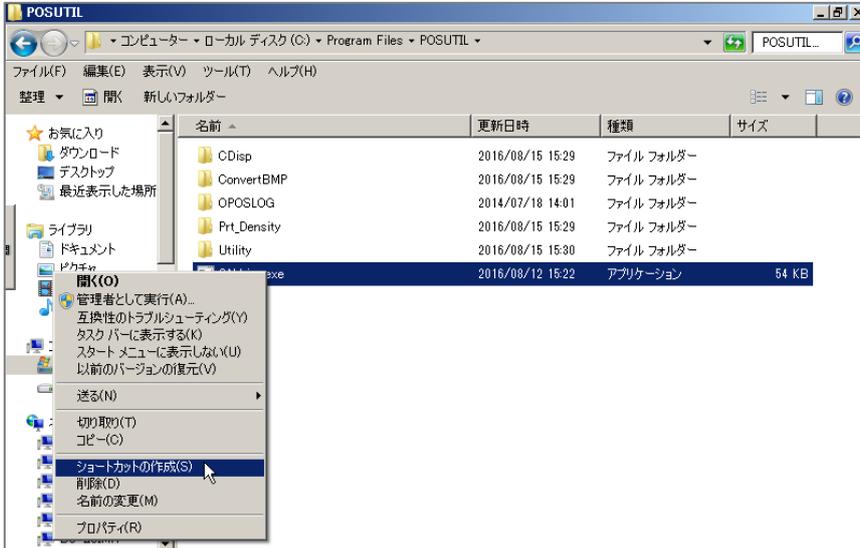
※「フォルダーの上書き」、「ファイルのコピー」を、全て許可してください。



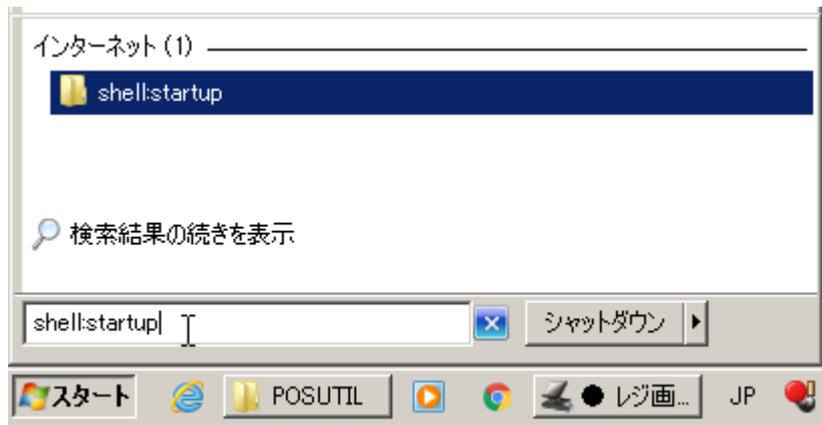
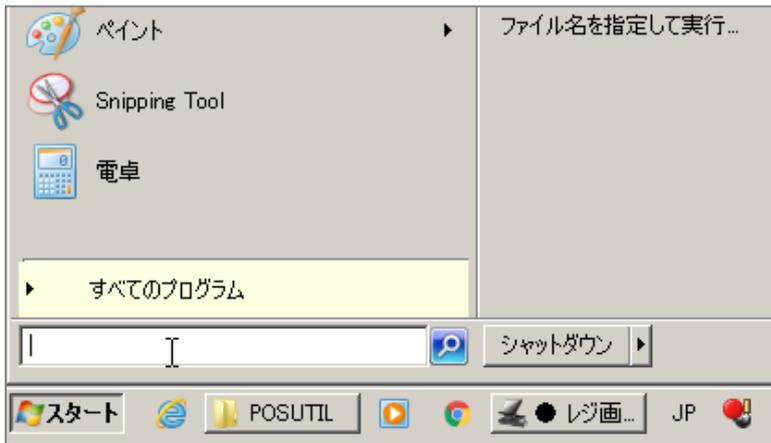
POSキーボード設定 - ②

1-③-1 「コンピューター」>「ローカルディスク(C:)」>「Program Files」>「POSUTIL」フォルダを開いて「GNdrive.exe」を、右クリックし「ショートカットの作成」をクリックします。

※「GNdrive.exe」は、RZ-A390シリーズのPOSキーボード「00」を有効にするプログラムとなります。

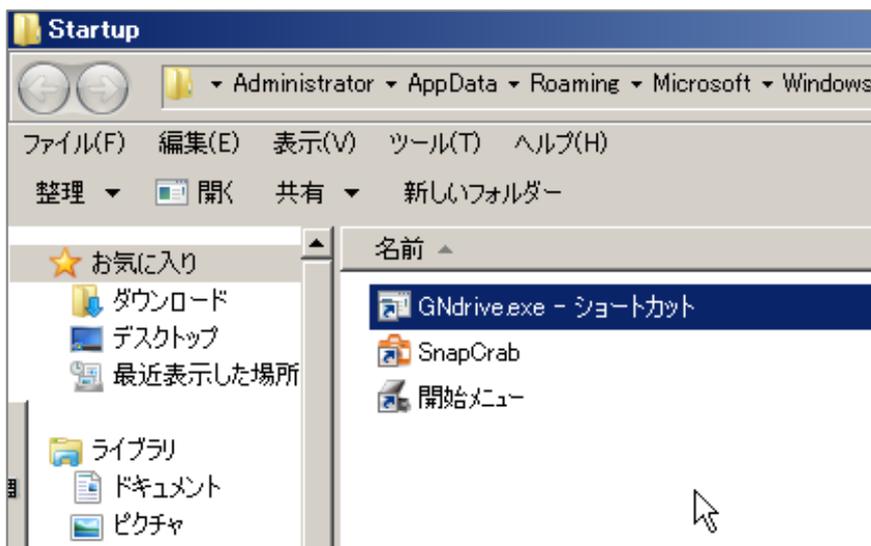
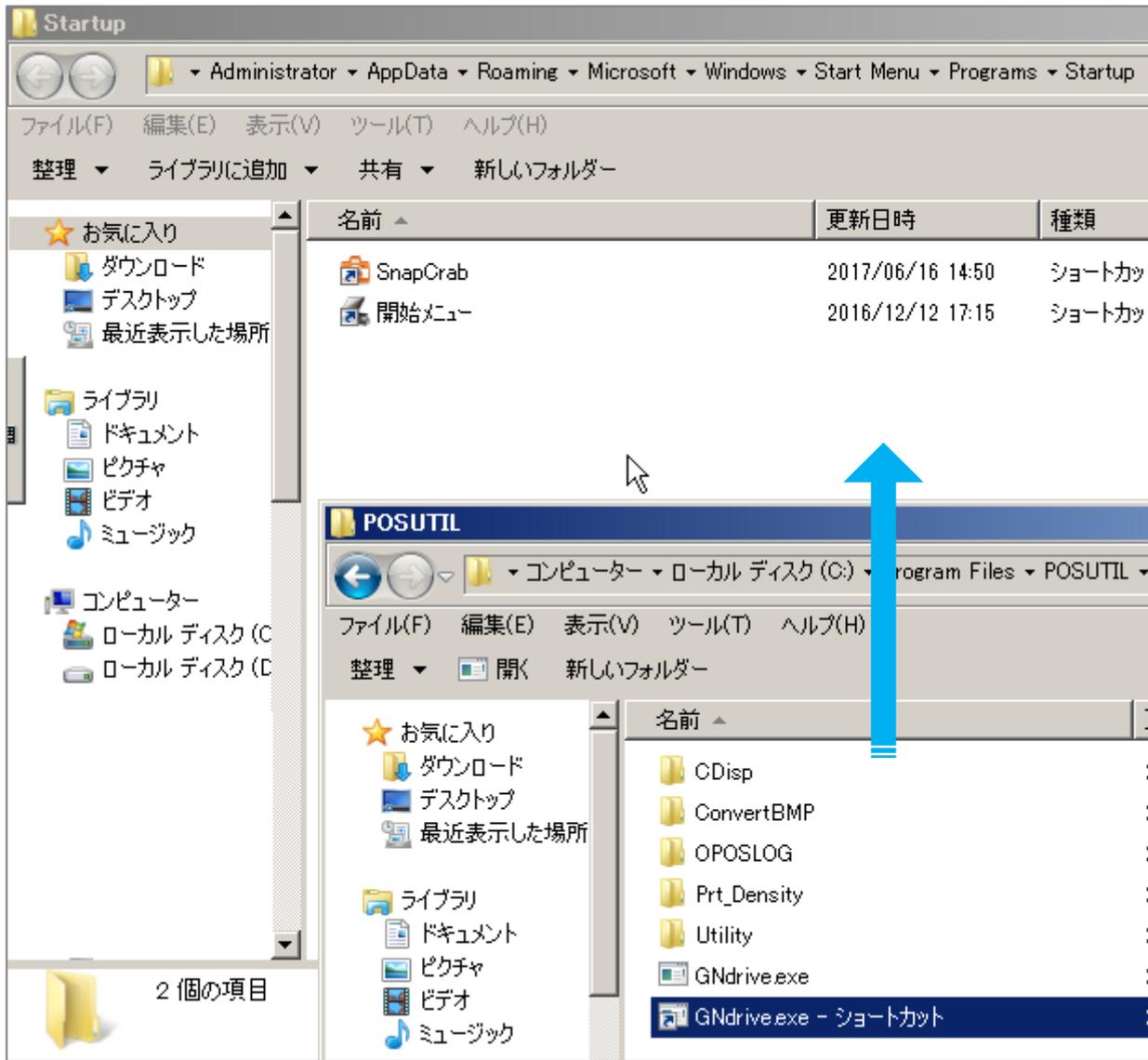


1-③-2 スタートボタンをクリックし、検索窓に「shell:startup」と入力して「OK」を押します。「スタートアップ」というフォルダが表示されます。



POSキーボード設定 - ③

1-③-3 1-③-1、で作成したショートカットを、「shell:startup」フォルダへ移動させます。



POSキーボード設定 - ④

1-④-1 「RZ-A390BCPOSセットアップ関連」>「2-POSキー設定関連」フォルダ内の「RZ-A391キーシート(39キー).pdf」を印刷します。

1-④-2 -下記、配置図を参照し、印刷したキーシートを切り抜いて、キーに取り付けます。

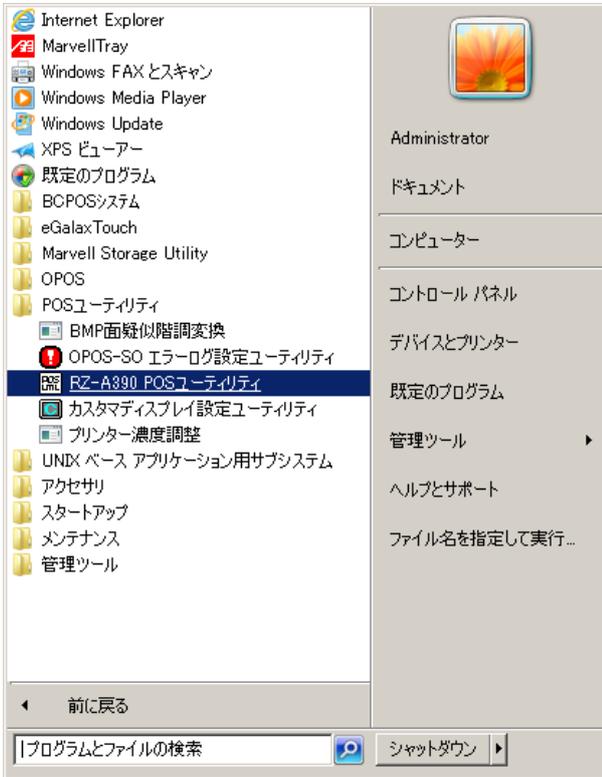
Esc	F1	F2	F3	F4	F5	F6
Tab	F7	F8	F9	F10	F11	F12
/	7	8	9	Back space	↑	
*	4	5	6	←	↓	→
-	1	2	3	Shift	小計	
+	0	00	Enter	現計		

注) キー設定を反映する場合、Windowsの再起動が必要です。
カスタマディスプレイ取付け時、Windowsをシャットダウンして取付けます。
上記2点を考慮し、都合の良い時に再起動を行ってください

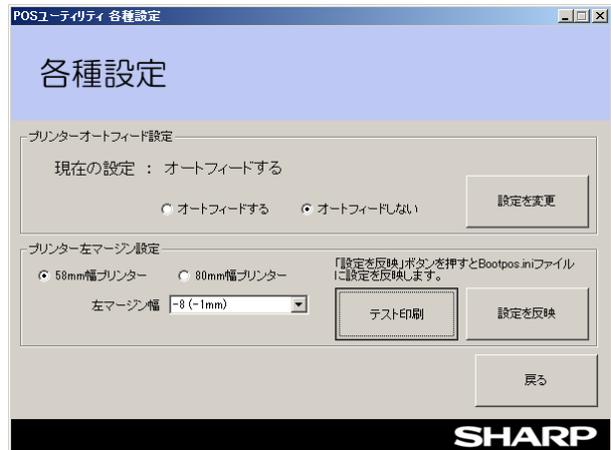
POSユーティリティ設定

RZ-A390 POSユーティリティで、使用するレシート幅・マージンの設定を行います。

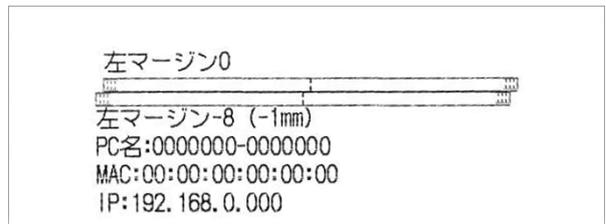
- ① スタートメニュー > 全てのプログラム > POSユーティリティ > 「RZ-A390 POSユーティリティ」を起動します



- ③ 各種設定
オートフィード：プリンタカバーを閉じた際に、自動で紙送り(87mm)する設定です
58mmプリンタ設定※1：
58mmプリンターにチェックを入れ、左マージ幅：「+8(+1mm)」
80mmプリンタ設定：
80mmプリンターにチェックを入れ、左マージ幅：「+8(+1mm)」
「設定を反映」をクリックします。



「テスト印刷」をクリックして、下図が印刷できれば「戻る」を押し、TOP画面に戻り「終了」を押して完了です。



注意) 上図が印刷されない場合、TOP画面に戻り「POS情報収集」を実効後、再度②～③を実効し、テスト印字が出来る事を確認してください。



※1 58mm (80mm縮小) も設定は同様です。

BCPOS インストール + 機種設定 + ini 設定追加

BCPOS最新版のインストール

- ①-BCPOSの最新版をインストールします。
- ※インストールの手順で、プリンタの選択画面は「使用しない」でインストールします。



レシートサイズ別設定

“80mmレシートを使用の場合”

「Bcpus.ini」への追加設定が必要
基本設定のジャーナルプリンタ名：SHARPRECPRT80
基本設定の余白：0

“58mmレシートを使用の場合”

「Bcpus.ini」への追加設定は不要
基本設定のジャーナルプリンタ名：SHARPRECPRT58
基本設定の余白：3

“58mmレシートを使用の場合(80mm縮小)”

「Bcpus.ini」への追加設定が必要
基本設定のジャーナルプリンタ名：SHARPRECPRT58
基本設定の余白：0

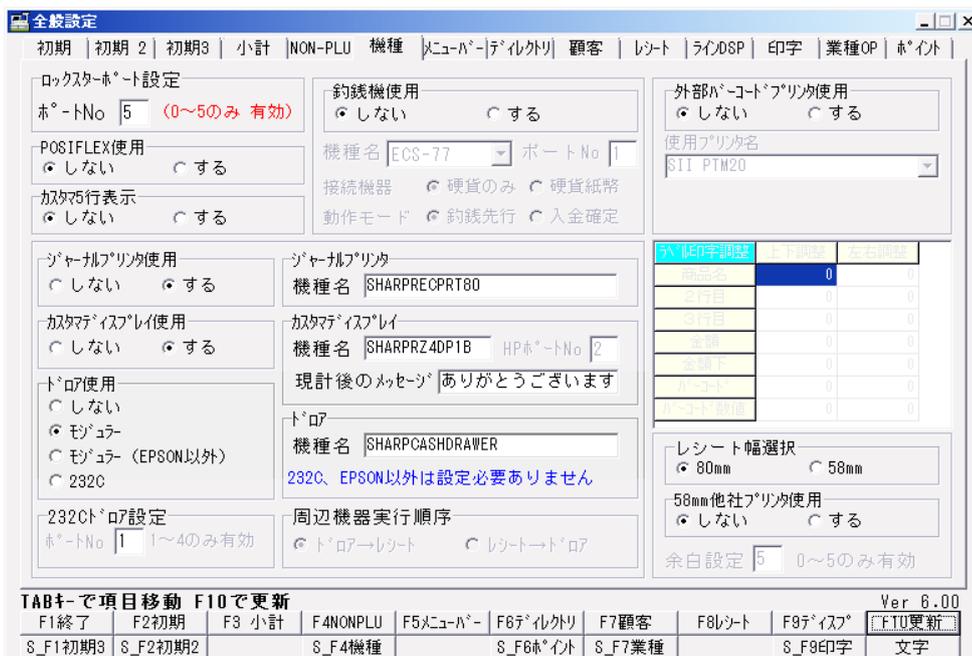
RZ-A390用の「Bcpus.ini」追加設定

C:\¥BCPOS「Bcpus.ini」の一番下に、

[Receipt]

LineChars=41

を追加する。※フォルダ内>Bcpus.iniの一番下に追加する項目.txt を参照(コピー可)



トラブルシューティング【レシートプリンタが認識されない場合】

OPOS_CCOs_1.13.001.msiを再インストールしてください。

(BCPOSフォルダ>TOOL>CCOフォルダ内にあります)

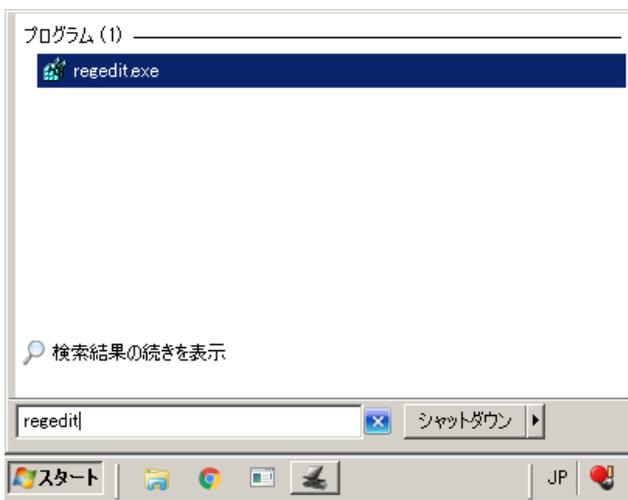
ラベル印刷・あっと免税連携時設定-①

ラベル・バーコード印字を行う為に、レジストリの追加を行います。

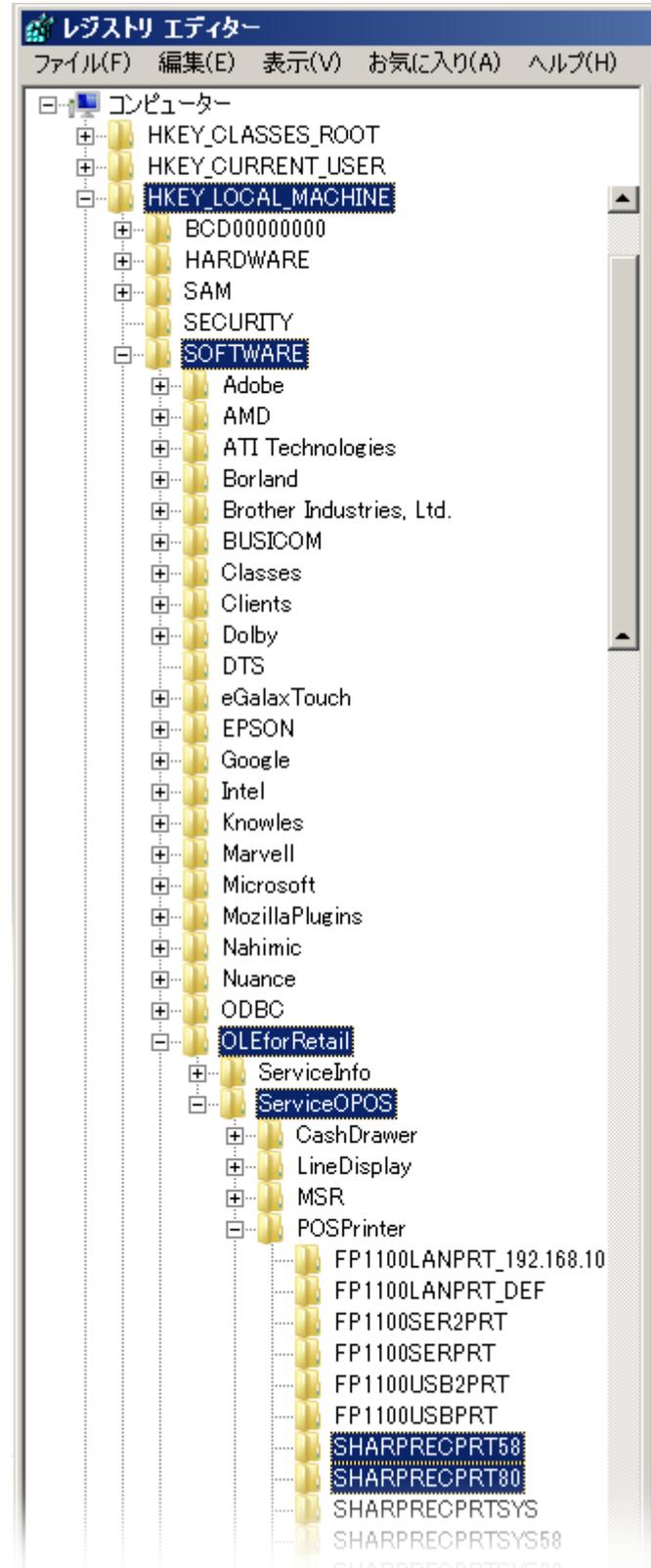
① スタートメニュー > プログラムの検索



② 「regedit」で検索し、regedit.exeを実行。

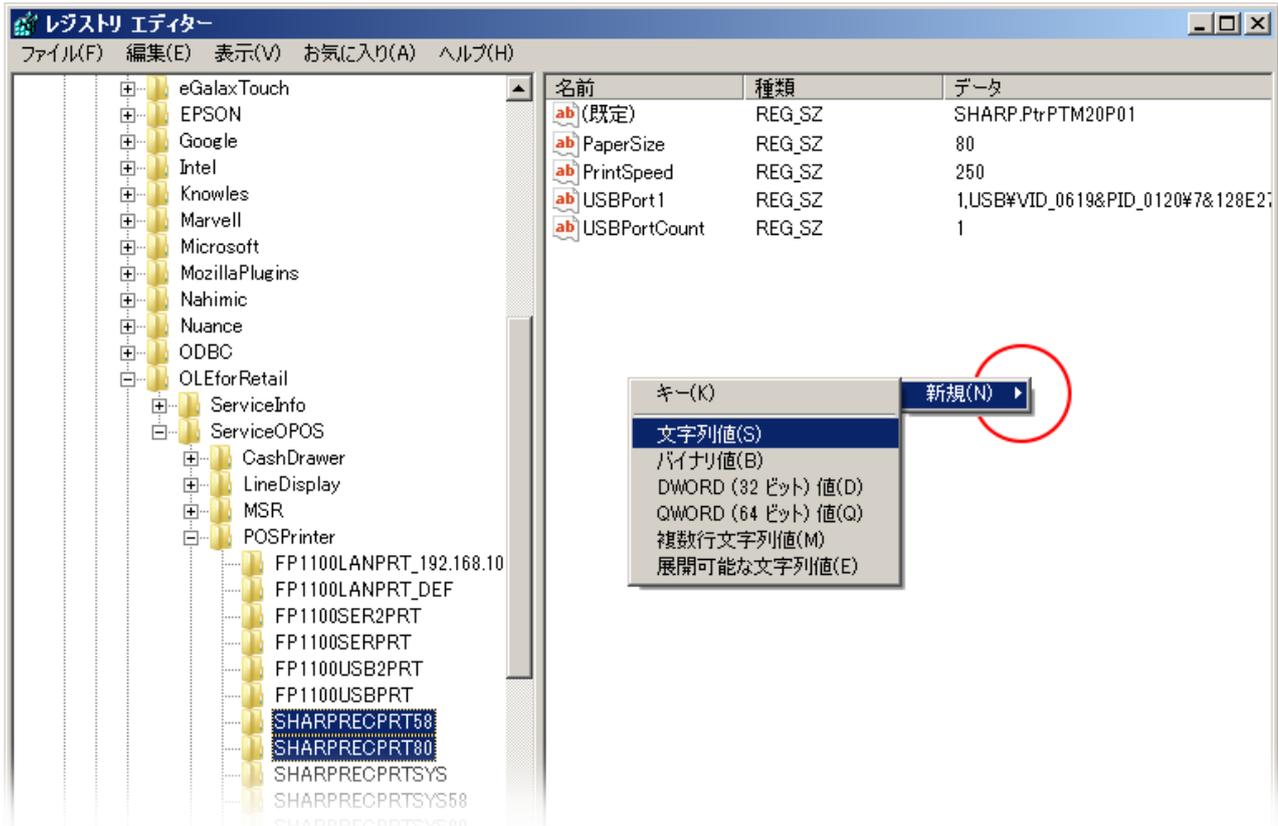


③ HKEY_LOCAL_MACHINE ¥SOFTWARE
¥OLEforRetail ¥ServiceOPOS ¥POSPrinter
¥SHARPRECPR80 を選択
(58mmの場合、¥SHARPRECPR58)

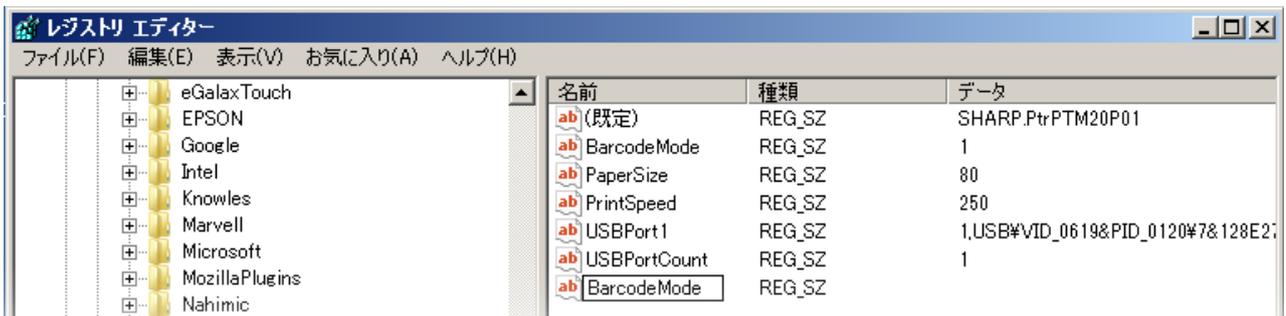


ラベル印刷・あっと免税連携時設定-②

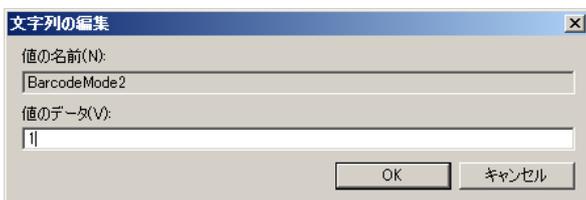
④ 右側のフィールドで、右クリックして、「新規」 > 「文字列値(S)」を選択します。



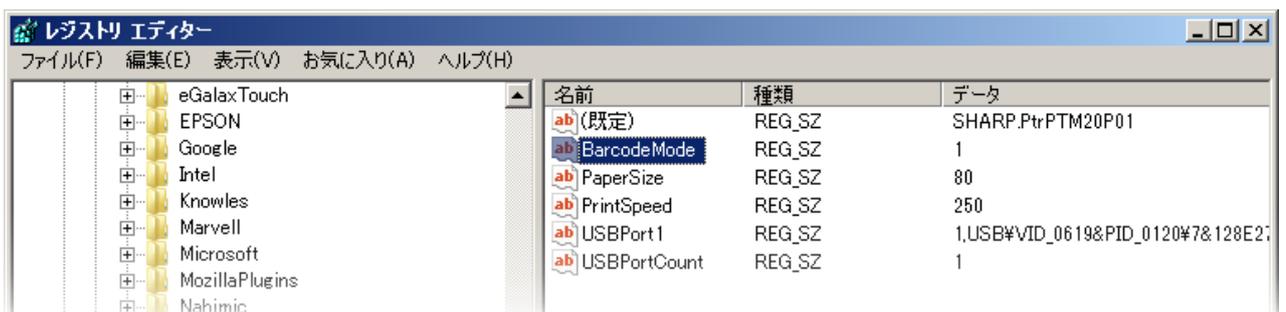
⑤ 「BarcodeMode」を入力します。



⑥ 作成した「BarcodeMode」をダブルクリックして、値のデータに「1」入力して「OK」を押します。



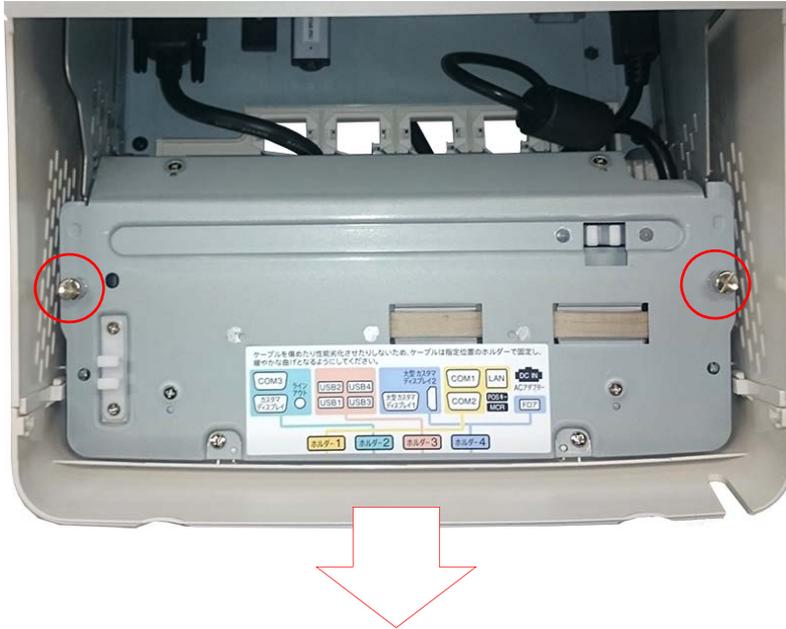
⑦ 下図のように、レジストリが追加されていれば右上「X」を押して終了します。



配線の収納について

配線を収納する場合には、本体下部をスライドする事で、安易にケーブルを収納する事ができます。

①-POSキーボードを外し、下図赤枠内のネジを緩め、手前にスライドします。



②-空間が広がりますので、ケーブルストラップで、ケーブルを止めます。



レシート用アタッチメント（58mm/80mmレシート）

工場出荷時のRZ-A390は、58mmレシート用のアタッチメントが付いています。80mmレシート使用時はアタッチメントを外してください。

①-プリンターカバーを開け、ネジを2個外し留め金を外します。



②-アタッチメントを上方向に上げて外します



③-アタッチメントを取った状態が下図、80mmレジロールサイズとなります



※-レジロールは用紙を上向きでセットします



カスタマディスプレイ (RZ-4DP1) の取付け-①

電源設定 (BOOTPOS.ini)

オプションのカスタマディスプレイを使用する場合、下記設定をしてください。

ファイルの場所：C:\¥Windows¥System32¥BOOTPOS.ini

設定値 4dp1_mode=1

RZ-A390 オプションの SHARP RZ4DP1 を本体に取り付ける場合は下記手順で行います。

- 注意事項**
- 必ず電源スイッチを OFF にすること。
 - AC ケーブルを抜く。
 - 必ずアースバンドを取り、作業すること。

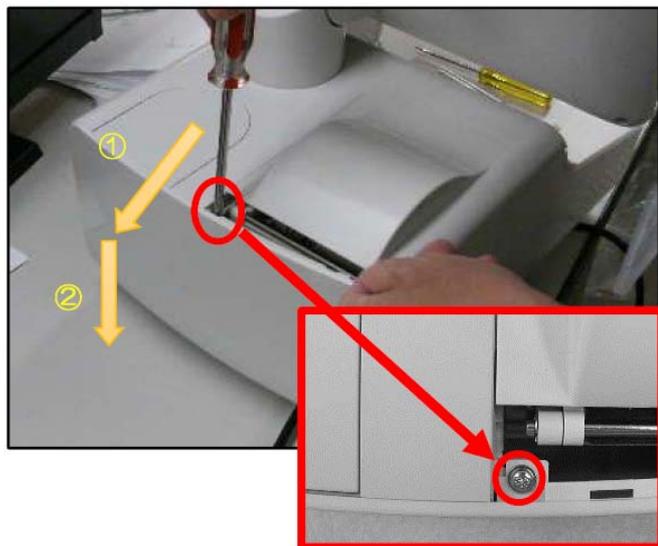
漢字カスタマディスプレイ (RZ-4DP1)

1) プリンタ後キャビを、マイナスドライバーを使用して取り外す。この時、キャビネット等を傷付けないように注意すること。



2) 後キャビの上側ビスを取り外した後、後キャビを取り外す。

- ① 矢印の方向に引き出す。
- ② 矢印の方向に下げる。



3) プリンターカバーを開けて、VFD キャップ、トップカバー-B を外す。



4) 漢字カスタマディスプレイのカバーを外し、RZ-4DP1 に付属している延長ケーブルを接続する。



5) RZ-4DP1 に付属しているビス 4 本で漢字カスタマディスプレイを取り付ける。



カスタマディスプレイ(RZ-4DP1)の取付け-②

- 6) 本体の付属品のクランプ(大)を同じ付属品の座付きビスM3×5でケーブルを固定する



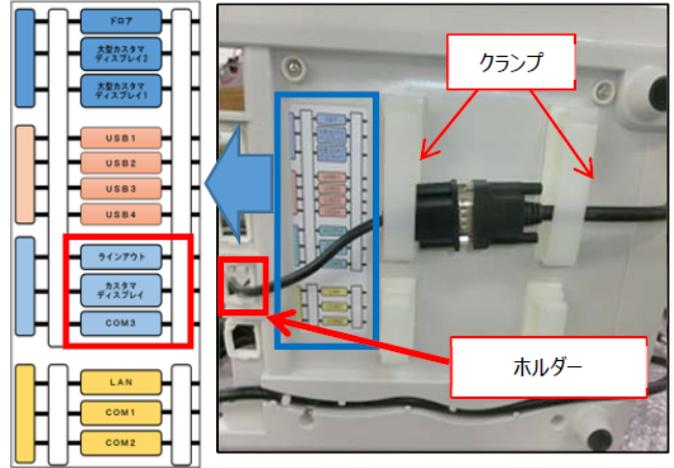
- 7) 漢字カスタマディスプレイのカバーを取り付ける。



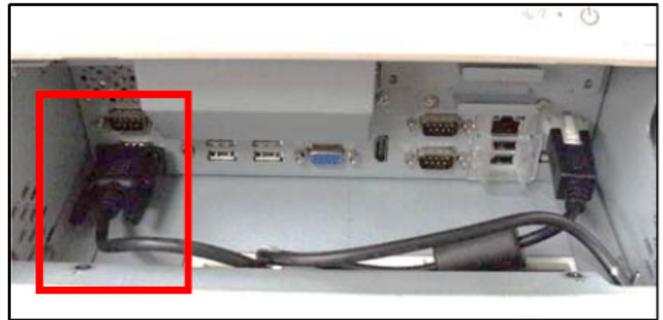
- 8) ケーブルを背面に廻し、ホルダーにはめ込み、ボトムケースの切り欠き部にはめ込む。ケーブルは本体裏面に配線する。



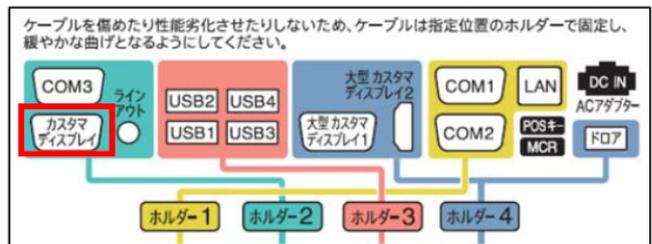
- 10) 本体の左側を下にして倒し、ケーブルは下図の通りケーブルをクランプ2個に通す。延長ケーブルの接続部分は下記の位置に配置すること。本体を倒す場合、表示ユニットは、右に90°回転させて、倒す面に柔らかい布を引く事。ケーブルは更にボトムケースのホルダーにはめ込む事。



- 11) 「カスタマディスプレイ」と刻印されたコネクタにケーブルを接続する。



- 12) アダプタホルダーの上に貼ったラベル(下)は、コネクタ配置を示し、グループごとに色分けし、4つのホルダーのケーブル配線場所を示す。ラベルの指示通り、ケーブルは、傷めたり性能劣化させたりしないため、ケーブルは所定位置のホルダーで固定し、緩やかな曲げとなる様にする事。左下のカスタマディスプレイのコネクタに接続し、ホルダー2に配線する。



- 13) トップカバーB、後キャビを取り付ける。

- 14) キーボード、ACアダプタトレイを取り付ける。

カスタマディスプレイ別置(RZ-4DP1)の組立て-①

電源設定(BOOTPOS.ini)

オプションのカスタマディスプレイを使用する場合、下記設定をしてください。

ファイルの場所：C:\¥Windows¥System32¥BOOTPOS.ini

設定値4dp1_mode=1

SHARP RZ4DP1を別置きで使用する場合は下記手順で組み立てます。

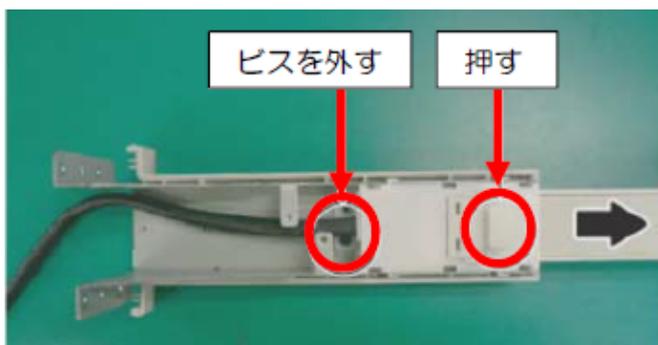
1) キャビネット後を外し、クランプを外す。



2) カバー、カバー前を取り外し、表示部からヒンジ部を取り外す。



3) ロックレバーを押しながら表示延長部を引き出す。アングルに止めているビスを外す。



4) 表示延長部とアングル部を分離する。



5) ガイドを取り外し、ビス2個を外し、アングルを取り外す。



6) ケーブルを取り外す。

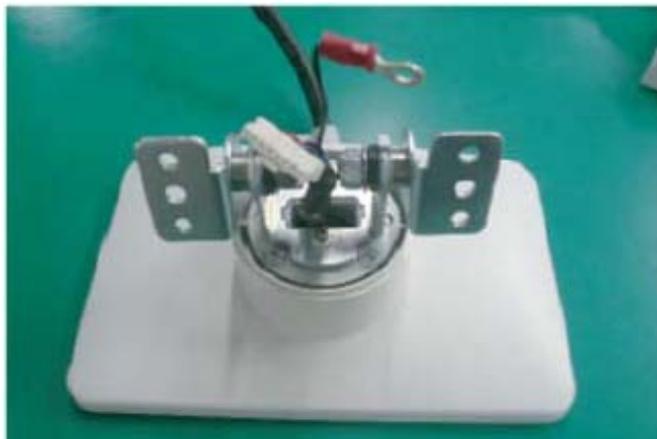


7) ヒンジ組品、ケーブル、表示部を取り外した状態。



カスタマディスプレイ別置(RZ-4DP1)の組立て-②

8) 同梱の設置台にヒンジ組品を置き、ケーブルを設置台下から引き出す。



1 1) カバー前を取り付ける。



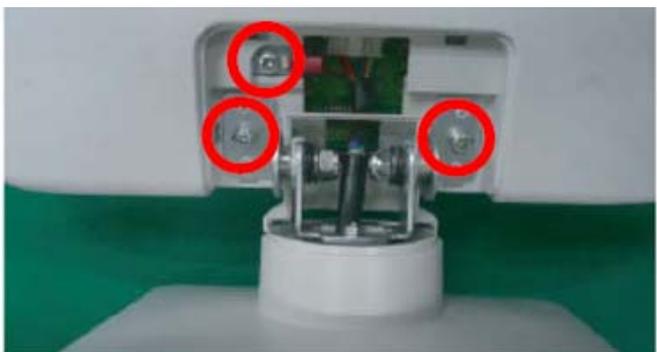
9) 後部カバーにケーブルを通し、表示部に接続する。



1 2) カバーを取り付ける。



1 0) ヒンジ組品を表示部、設置台にビス(2本)を取り付け、アース線を表示部にビスで取り付ける。



1 3) 設置台裏面にケーブルを同梱品のクランプで固定する。



注意事項 カスタマディスプレイの取り付けを先行した場合、各種ソフトウェアの設定後に一度、Windowsの再起動を行ってください。

BUSICOM.

1986-2016 Busicom.Co.,Ltd. All Right Reserved.

2017/6/16